

第63回男子・第36回女子全日本学生ホッケー選手権大会 結果報告

第63回・第36回女子男子全日本学生ホッケー選手権大会

第 5 日

開催日時 11 月 5 日 (水) 会場 岐阜県グリーンスタジアム 天候 晴れ

【全試合結果】

第1試合 女子3決 9:20	東海学院大学	3	$\begin{pmatrix} 1 - 0 \\ 2 - 2 \end{pmatrix}$	2	天理大学
第2試合 男子3決 11:10	明治大学	2	$\begin{pmatrix} 2 - 1 \\ 0 - 1 \end{pmatrix}$	2	朝日大学
			0 延長 0 3 SO 2		
第3試合 女子決勝 13:00	山梨学院大学	1	$\begin{pmatrix} 0 - 0 \\ 1 - 0 \end{pmatrix}$	0	立命館大学
第4試合 男子決勝 14:50	立命館大学	1	$\begin{pmatrix} 0 - 0 \\ 1 - 0 \end{pmatrix}$	0	天理大学

【各試合の結果・詳細】

第1試合

$$\text{東海学院大学 } 3 \begin{pmatrix} 1 - 0 \\ 2 - 2 \end{pmatrix} 2 \text{ 天理大学}$$

<得点>

東海学院大学：21分佐々木、37分山口、51分真野

天理大学：43分松本、67分松本

<戦評>

東海学院大学のセンターパスにより前半戦が開始。4分東海は#8真野のパスから#11森田がブッシュシュートを打つが、惜しくも枠内には入らない。天理も積極的な攻撃を見せ10分にPCを取得。#4早戸が#6平原を狙うが東海GK#1清水に阻まれ得点することが出来ない。さらに天理は17分#29勝又がサークルトップからリバースシュートを打つがゴール上にそれる。対する東海は21分#7一谷のセンターリングに#6佐々木がうまく合わせ先制点を挙げ、1-0で前半戦を折り返す。

後半開始早々、36分に東海がPCを取得。#16安部のスィープを#10山口がタッチシュートを決め2点目を得る。42分天理がPCを取得。#11松本がヒットシュートを決め1点を返す。52分、反転で攻め上がった東海#9清水が打ったボールを#8真野がGKの前でタッチし3-1とする。対する天理は67分にサークル内でボールを受けた#11松本がブッシュシュートを決め点差を縮める。70分天理はPCを取得するが決めることが出来ず3-2で東海学院大学が3位となった。

テクニカルオフィサー	今庄 充世	アンパイア	穴井 孟司
ジャッジ	苅田 和代		Fong Geng
	梶田 賢二	リザーブアンパイア	戸塚 洋介
サゼッションアンパイア	成田 健一	サゼッションアンパイア	野澤 達

第2試合

$$\text{明治大学 } 2 \begin{pmatrix} 2 - 1 \\ 0 - 1 \end{pmatrix} 2 \text{ 朝日大学}$$

0 延長 0
3 SO 2

<得点>

明治大学：22分谷光、27分川村

朝日大学：33分武田、58分武田

<戦評>

明治大学のセンターパスにより前半戦が開始。13分朝日大学はPCを取得。#3福山がスィープシュートを打つも明治の守備に防がれる。22分明治がPCを取得。#2谷光がドラッグシュートを決めて先制点を挙げる。27分勢いに乗った明治は、#9川村がスクープを受けてGKをかわし、リバースシュートを決めて追加点とする。追いつきたい朝日は33分PCを取得。#4武田がドラッグシュートを決めて2-1として前半戦を折り返した。

後半戦が開始。一点を追いかける朝日は、巧みなドリブルとパスで攻め込むも、得点には至らない。その後も激しい攻防が続くが、両者共に得点には至らない。58分朝日がPCを取得。#4武田がドラッグシュートを決めて同点に追いつく。59分勢いに乗った朝日は再びPCを取得するも、明治の堅い守備により得点に逆転することは出来ない。対する明治もサークル内へのセンターリングを打ち込み、チャンスを作るが得点には至らない。そのまま2-2の同点で延長戦へもつれ込んだ。

明治大学のセンターパスにより延長前半戦が開始。73分明治#14松本がチャンスを作るも、得点には繋がらない。その後も一点を狙った激しい攻防が続く中、76分朝日がPCを取得。チャンスを活かすことが出来ず、延長後半戦へもつれ込んだ。

延長後半戦が開始。互いに一步も譲らない熾烈な攻防が続く。お互い得点には至らず無得点のままSO戦にもつれ込んだ。

SO戦は、一人目、先攻の朝日は、明治GK#1國友が好セーブを見せ、後攻の明治#16宮下がターニングからシュートを決めて1-0とする。二人目、朝日#21川畑は決めるものの、明治は朝日GK#1坂井田の好セーブにより決まらず1-1とする。三人目、朝日#27武石はヒットを打つが惜しくも枠を外れ、明治#2谷光はフェイントからリバーススィープで決めて2-1とする。四人目、朝日#8片平はリバースブッシュで決めて、明治#4柏木もスクープシュートで決めて3-2とする。五人目の#5山田はシュートを打つがGKに防がれ、リバウンドを狙いシュートを打つが惜しくも枠を外れ、3-2で明治が3位となった。

テクニカルオフィサー	鹿野 育郎	アンパイア	木下 英貴
ジャッジ	岩田 順充		小原 直也
	下島 多美子	リザーブアンパイア	富山 喜正
サゼッションアンパイア	松村 満	サゼッションアンパイア	渡邊 道彦

第3試合

$$\text{山梨学院大学 } 1 \begin{pmatrix} 0 & - & 0 \\ 1 & - & 0 \end{pmatrix} 0 \text{ 立命館大学}$$

<得点>

山梨学院大学：40分狩野

立命館大学：

<戦評>

立命館大学のセンターパスにより前半戦が開始。立ち上がり立命館が主導権を握り、ゴール目筋まで攻めたてるが山梨の堅い守備に阻まれる。対する山梨は16分にPCを取得。#4近藤がヒットを打つが決めることが出来ない。一進一退の白熱した攻防が繰り返される。31分再び山梨がPCを取得。#1田中がドラックを打つが立命GK#1要石がセーブし、得点することができない。両チームとも点数が入らないまま前半戦を折り返す。
後半戦に入っても一進一退の攻防が続く。40分山梨は右サイドから#23狩野が回り込みシュートを決め1-0とリードする。53分山梨はPCを取得。#4近藤がヒットを打つが立命館の堅い守備に阻まれ、追加点が奪えない。59分立命館はPCを取得。#17一谷奈がプッシュシュートを打つが山梨GK#3笹木の好セーブにより得点することが出来ない。試合はこのまま終了。1-0で山梨学院大学が勝利し3年連続7度目の優勝となった。

テクニカルオフィサー	鹿野 育郎	アンパイア	戸塚 洋介
ジャッジ	苅田 和代		野澤 達
	下島 多美子	リザーブアンパイア	Fong Geng
サゼッションアンパイア	富山 喜正	サゼッションアンパイア	穴井 孟司

第4試合

$$\text{立命館大学 } 1 \begin{pmatrix} 0 & - & 0 \\ 1 & - & 0 \end{pmatrix} 0 \text{ 天理大学}$$

<得点>

立命館大学：38分大橋

天理大学：

<戦評>

天理大学のセンターパスにより前半戦が開始。両者共に一進一退の激しい攻防が繰り返される。11分天理はPCを取得するも惜しくも枠を外れる。17分立命館大学がPCを取得。天理GK#1井川の好セーブにより得点には至らない。互いに巧みなドリブルとパスワークから相手陣内へ攻め込むも、両者先制点を挙げる事が出来ない。34分天理がPCを取得するも、立命館の堅い守備に阻まれる。両者共に無得点のまま、前半戦を折り返した。
後半戦が開始。立ち上がり2分、3分と立て続けに立命館がPCを取得。#9大橋のドラッグシュートが決まり、待望の先制点を挙げる。1点を追いかける天理は45分PCを取得。立命館GK#2吉田の好セーブにより追いつくことができない。57分天理は再びPCを取得するが立命館の体を張ったDFにより押し切ることが出来ない。追加点を狙う立命館は68分、69分と続けてPCを取得するも追加点を得られない。このまま試合は終了。1-0で立命館大学が勝利し、3年連続6度目の優勝となった。

テクニカルオフィサー	今庄 充世	アンパイア	成田 健一
ジャッジ	梶田 賢二		渡邊 道彦
	岩田 順充	リザーブアンパイア	小原 直也
サゼッションアンパイア	松村 満	サゼッションアンパイア	木下 英貴

最終順位

男子

- 優勝** 立命館大学 (3年連続6回目)
- 準優勝** 天理大学
- 3位** 明治大学
- 4位** 朝日大学

女子

- 優勝** 山梨学院大学 (3年連続7回目)
- 準優勝** 立命館大学
- 3位** 東海学院大学
- 4位** 天理大学

最優秀選手

田中世蓮(立命館大学)

田中泉樹(山梨学院大学)